



教育資料 クラブ運営 5. 新入会員導入式

ITC-J クラブ活動を成功させるためには、新入会員を迎えることは大きな弾みの一つとなります。なぜなら、新入会員は、新しい才能やアイデア、そして新しい分野への探求のビジョンをもたらしてくれるからです。新しい会員がクラブに加わることは新鮮で心楽しい出来事です。新入会員にとっても自分がそのクラブの重要かつ、役に立つ会員になるということを感じるようにしなくてはなりません。

そのために相応しい「新入会員導入式」を準備しましょう。

1. 導入式の意義

「導入」の言葉の意味は、「正式に紹介する」ということです。

導入式は、新入会員にとって「ITC-J のスポットライト」を浴びる最初の経験です。

次の3つの要素を取り入れて行うとよいでしょう。

- * ITC-J の意義
- * 新入会員に対する歓迎
- * 会員の権限と責任の説明

クラブにおいては、新入会員の導入式は、会員にとってもクラブに対する責任をあらためて自覚する良い機会であり、刺激にもなるでしょう。

通常、導入式はクラブの会員委員長が執り行います。この役は、クラブにおいて会員に与えられる最も重要な役目の一つです。それは経験豊かな会員が独創的で意義深い演出に挑戦できる機会です。入念な準備をして行われる「導入式」により新入会員は温かく歓迎されていると感じるでしょう。

2. 新入会員導入の役目を与えられた人がすべき準備について

- (1) 時間に気を付けること
簡潔に、実際的に行うこと。
- (2) 常に誠実であること。
導入式の下原稿を棒読みにならないよう、練習をするなど、誠実であること。
- (3) しっかり下調べをすること
新入会員の趣味や興味のあること、どうして ITC-J への入会を決心したかななどの情報をある程度調べておく。
- (4) 新入会員に渡すものを用意する
「クラブ会則および細則」「ITC-J マニュアル」「会員名簿（新入会員も加えられているのが望ましい）」「ITC-J から届く【会員カード】」「名札」など。

3. 導入式

(1) テーマ

創造的に感動的に意義深く個性的な導入式にするために、テーマを設けるのも良いでしょう。

<例>

- ① 鍵 自己啓発の機会を与えるために ITC-J のドアは閉じられることはなく、いつも大きく開けられていることを示唆するためにキーホルダーなどを贈る。
- ② 植物 成長を意味する、小さな植物を贈り物として用意する。ITC-J に所属することによって、さまざまな形で個人の成長が促されるであろうことを説明する。
- ③ 色 会員がクラブへ入会した理由と関連付けて、色を適切に意味付けする。例えば、青は誠実、金色は指導力、緑は個人の成長、ピンクは内なる力など。リボンなどで色を示すのもよい。
- ④ キャンドル

「ITC-J に入って、あなたの世界を明るくしましょう」との示唆でキャンドルを贈る。クラブ会長が別のキャンドルに火を点けて、新入会員はその炎から贈られたキャンドルに点灯するパフォーマンスも感動的です。

(2) シナリオ(例)

「ITC-J〇〇クラブの会員委員長として新会員の導入式を行います。」

「□□さん、ITC-J〇〇クラブの会員を代表してあなたの入会を歓迎いたします。

ITC-J は、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上を目指して学習する教育機関です。」

「会員には責任と権限があります。責任は、会合には規則正しく出席し、会費を支払い、プログラムでの役割を担当し、委員、委員長、役員などのお役を引き受けることです。これらの責任を果たしていただけますか。」(答える時間を待つ)

「では□□さん、あなたを ITC-J の仲間として心から歓迎します。そして〇〇クラブでのあなたの活躍を期待しています。」

「責任に伴って多くの権限があります。あなたは、クラブでの最も大切な教育や訓練を受ける権利をはじめとして、カウンスル会合や ITC-J 年次大会に出席して、組織の上のレベルの教育や訓練を受ける権利があります。また ITC-J ウェブサイトに掲載された教育資料はじめ、各種の資料を利用することができます。

訓練のためのプログラムを経験することによって自信が付いていくことでしょう。

また、大切な友人の輪が広がることと思います。あなたが〇〇クラブを選んでくださってうれしく思います。私たちはあなたの最初のお役を楽しみにしています。」

(この時点で贈呈する品を渡す)

「ITC-J〇〇クラブの皆様、新会員□□さんの入会を歓迎しましょう。」

4. メンター（新入会員のアドバイザー）の人選とその役割

有能で適材の会員に、メンター（アドバイザー）を任命する

* アドバイスや評価を受ける際に気まずさを感じるかもしれないので、必ずしも新会員を紹介した友人がメンターになる必要はありません。

- ・ 例会と例会の間に必要なら連絡を取ることもよいでしょう。
- ・ 最初 2、3 回の例会では新会員の隣の席に座ることもよいでしょう。
- ・ プログラムや教育が理解できているか確認し指導しましょう。とりわけ、新会員は〈評価〉を恐れるかもしれませんが、自己の成長と進歩の目安のため、評価は必要な方法であり、価値があることを説明しましょう。
- ・ 例会の前後に、話すことも役立つでしょう。
- ・ 分からない点を尋ねやすいよう、コミュニケーションを十分とるようにしましょう。
- ・ ITC-J 組織図なども説明しましょう。

参考：『新入会員導入式』（旧 日本リージョン教育資料）